

令和3年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

### ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h4>1 一人一人の児童生徒の尊重</h4> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。</p>	<h4>2 友達への思いやり</h4> <p>子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。</p>	<h4>3 道徳・心の教育の充実</h4> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
--	---	--

【学校から】○豊かな心をはぐくむ教育については、昨年度同様、保護者・児童・教職員それぞれ9割を大きく越えて支持されている。新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながら、できる範囲で子どもたちのかかわりを大切に考え、子どもの自主性を尊重してきたことが成果として表れていると感じている。保護者に対しては、家庭訪問に替わるリモート面談、分散での授業参観、久しぶり対面での学級懇談や、学校便り、学級便り、「親子道徳の日」等でその学びを伝えてきた。今後も機会をとらえて子どもたちの様子を伝えながら保護者との連携を密にしていきたい。

### ②確かな学力を育む教育の推進

<h4>4 意欲的な学習態度</h4> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h4>5 授業力向上</h4> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h4>6 ICT活用</h4> <p>子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。</p>
---	--	--

【学校から】○保護者と児童の「意欲的な学習態度」における「そう思う」の割合は昨年度とあまり変わらず9割弱である。学校での様子を見てもらう機会が少なかったことも原因の一つと思われる。今後も児童の意欲を大事にしながら、一人一人を大切にされた授業を工夫していきたい。○ICTの活用では、「そう思う」の割合が、保護者、児童共に9割を越している。これからも、職員の技能も向上させていながら、より効果的なICT機器活用を意識して分かりやすい授業づくりに努めていきたい。

### ③健やかな体を育む教育の推進

<h4>7 健康づくり</h4> <p>子どもは、好き嫌いを克服し適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。</p>	<h4>8 児童生徒理解</h4> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。</p>
---	--

【学校から】○コロナ禍において劇的に変化したのはこの項目である。特に児童においては年々下がっている中で、外遊びや他の学年との交流等これからも大切にしていきたい。他の面についても保健委員会と連携しながら主体的に生活を見直すことで健康づくりにつなげていきたい。

【学校から】○児童、保護者ともに「そう思う」の割合が9割を超えている。月1回職朝で情報交換会や、校内支援委員会で共通理解を図り、全職員で全児童にかかわってきた成果だと感じている。これからもぜひ継続していきたい。

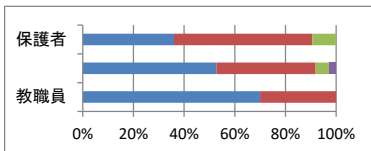
<h3 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h3> <h4>9 いじめや問題への対応</h4> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p> <p>【学校から】○いじめ対応や生徒指導上の対応、支援を必要とする子どもの教育などでは、職員間で共通理解をし、複数で対応することを徹底してきた。今後も、保護者との連携も含めて「チーム河内」として協力しながら取り組んでいきたい。</p>	<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>10 学校の支援体制</h4> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p> <p>【学校から】○8児童生徒理解でも触れたが、月1回職朝で情報交換会や、校内支援委員会で共通理解を図り、全職員で全児童にかかわっている。道徳の授業を充実させるとともに年間指導計画に沿って人権学習を実施し、日頃から人権意識を喚起してきた。一人一人の子どもを大切にしているという意識をもって教育を進めているが、今後も継続して取組を進め、共生社会を担う人材の育成を図りたい。</p>
--	--

<h3 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h3> <h4>11 共生社会を担う人材の育成</h4> <p>「交流及び共同学習」等の実施は、相互理解の促進につながっていると思いますか。</p>	<h3 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h3> <h4>12 安全と事故防止</h4> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p> <p>【学校から】○今年度も登下校のしかたで指導が必要な場面が何度あった。地域や保護者の協力があり、知りえた情報もあった。子どもたちが自分たちの行動を振り返りながら自主的な取り組みをできるような支援を行い、廊下歩行等安全面への意識をさらに高めていきたい。</p>
<h4>13 施設・設備の安全管理</h4> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p> <p>【学校から】○今年度も日常的に点検を行うとともに、職員で分担し、毎月安全点検を行っている。常に危機意識を持って施設・設備の管理を行なっていく。</p>	

## ②最適な学習環境の整備

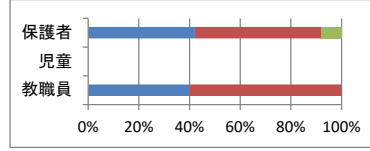
### 14 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



### 15 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

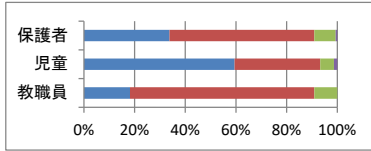


【学校から】○「教育方針・目標の理解」「家庭や地域との連携協力」共に9割を越えている。保護者に対しては、学校便りや行事、役員会などで方針や児童の様子を伝え、児童に対しては、集会や行事の際に校長・担当から話をしてきた。地域とのふれあいに関しては感染症予防の観点から取り組むのは難しく課題であるが、今後も連絡を取り合いながら、連携・協力を進めていきたい。

## 本校の教育

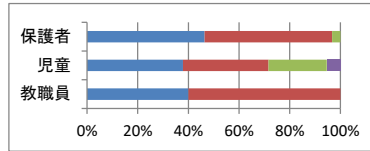
### 16 1

子どもたちは、誰に対しても気持ちのよいあいさつができていますか。



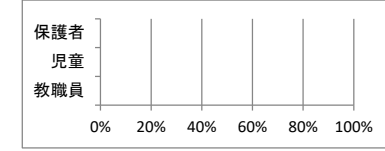
### 17 2

先生方は、子どもたちが自分の考えや思いを発表し合うような授業づくりに努めていますか。



### 18 3

d



【学校から】○あいさつが「できている」と答えたのは児童、保護者ともに9割を超えており、学校だけでなく家庭・地域でもあいさつが定着している様子が分かる。児童会を中心に、あいさつ運動を行ったり、あいさつの大切さを伝えてきたりした成果であると考えられる。今後は河内中学校でも取り組んでいる「目を見る」「立ち止まる」など、挨拶の質についても考えさせていきたい。  
○「授業中、進んで発表する」では72%の児童が「そう思う」と答えており、昨年度より3%下がっている。1年以上前から蜜を避けるためペアやグループ活動が制限され、集会等もすべて放送やりモートでの実施となっている。これまでの取り組みの重要性を再認識するとともに、発表が苦手な児童に対しては、今後も授業の工夫・励まし等をこれからも継続していきたい。

## 来年度の具体的な取り組みについて

○教育目標方針については、全職員が共通理解・共通実践を図るとともに、学級・学校便り、学校HP、PTA新聞、諸団体合会などあらゆる機会を通してこれからも分かりやすく丁寧に情報発信を行う。  
○「熊本市の授業づくり3つのポイント」を意識しながら、毎時間の授業の充実のための教材研究・開発を続けていくとともに、授業力向上のため2年間行った1人1研究授業を来年度も実施し、職員研修の充実にも努める。  
○小中一貫校として、保・小・中の更なる連携を深める。情報交換を密に行いながら、「河内スタンダード」を基にしてそれぞれの段階に応じた一貫性のある指導に努める。特に第1回目の合同運動会は必ず実施したい。  
○学力テストの結果を分析し、全職員で課題を共有する。授業改善のポイントを話し合い、研究主任を中心に全校を挙げて重点的に取り組むとともに、きめ細かな指導の工夫改善に努める。  
○学校保健委員会を活用して、健康課題を保護者と共有するだけでなく、西区保健子ども課や「河内校区健康づくり・子育て支援ネットワーク」と協力して、学校だけでなく家庭・地域をまきこんだ健康教育の推進を図る。  
○体力テストの結果を分析し、体育の授業の充実とともに縦割り班活動の工夫、外遊びの奨励を継続し、児童の体力向上に努める。

## 学校関係者評価

○小中一貫校として中学校と密に連絡を取り合い、教育を進めていることが感じられる。  
○縦割り班活動が充実し、優しい言葉かけをしたり、異学年で遊ぶなど学校全体で仲のよさを感じる場面が多い。外遊びも盛んで、体力の向上にもつながっている。  
○自転車に乗っている児童はあまり見かけない。（大きな道路はトラックが通るので危険なため）それぞれ地域の公園ではよく見かける。  
○子どもや地域との関わりを大切にしており、学校生活を安心して過ごすことができている。先生方の指導にいつも感心している。